

平成28年度に係る業務の 実績に関する評価結果概要



はじめに

神戸大学は、「学理と実際の調和」を理念とし、社会科学分野・理科系諸分野双方に強みを持つ特色を発展させ、「**先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学**」への進化を目指しています。

第3期中期目標期間においては、①先端研究の臨場感のなかで創造性と学識を深め、地球的課題を解決するために先導的役割を担う人材を輩出すること、②文・理の枠にとらわれない先端研究を推進し、他機関とも連携して、新たな学術領域を開拓・展開すること、③海外大学と重層的な交流を図り、世界から優秀な人材が集まり、飛び出していくハブ・キャンパスとしての機能を高めること、④これらの教育研究を社会と協働して推進し、社会還元することを基本的な目標として決めました。

神戸大学ビジョン キャッチコピー・イメージ図

Initiative for Excellence
卓越研究のイニシアティブを



(神戸大学ビジョンの詳細は、ウェブサイトの[ビジョン紹介ページ](#)参照)

平成28年度は、この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、神戸グローバルチャレンジプログラムによる**実践型グローバル人材育成**を実施（3ページ参照）するとともに、**文理融合型の独立大学院を設置**（5ページ参照）するなどの取組を実施し、「国立大学法人評価委員会」の評価において、すべての項目で「順調」との評価を受けました。

項目	評 定
(1) 業務運営の改善及び効率化	順 調
(2) 財務内容の改善	順 調
(3) 自己点検・評価及び情報提供	順 調
(4) その他業務運営	順 調

※ 各年度における評価では、教育研究等の質の向上の状況に関する評定は付されない。

以下に、「国立大学法人評価委員会」の評価結果において、「注目される」との評価を受けた取組を中心にその概要を掲載します。

なお、課題として指摘された事項はありませんでした。

教育研究に関して注目される取組

○ グローバル人材育成に向けた国際通用力の強化 (戦略性が高く意欲的な目標・計画)

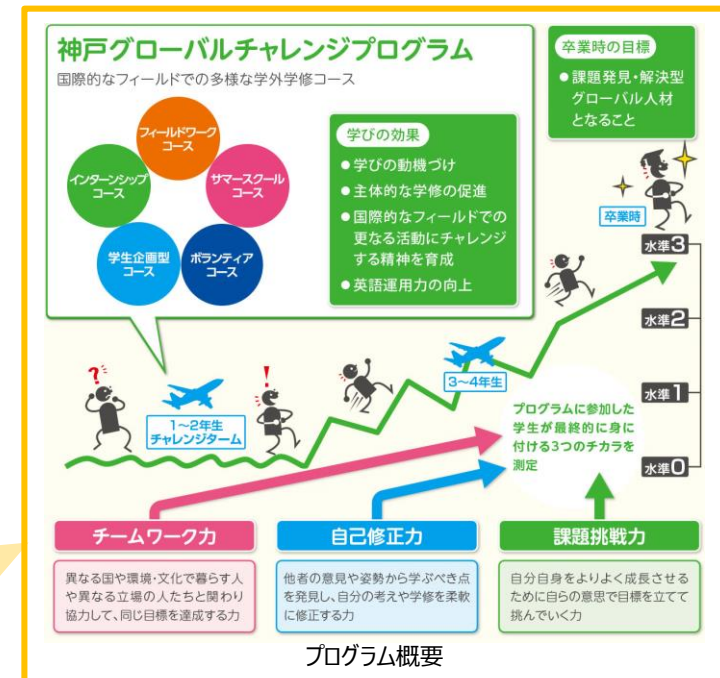
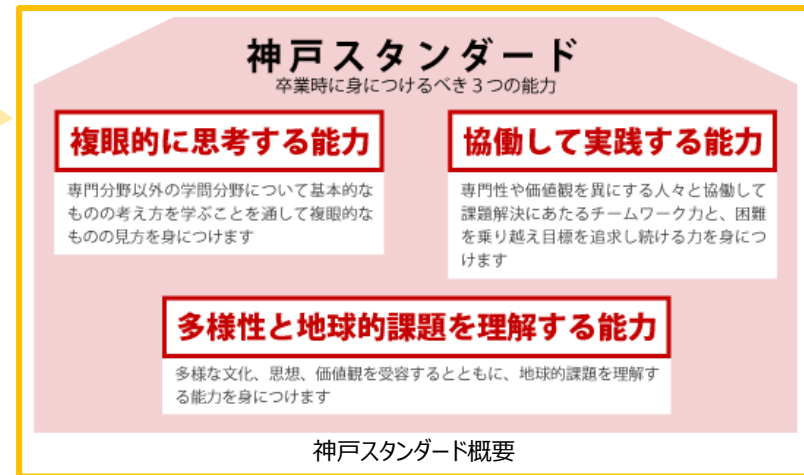
- ・ 学生が卒業時に身に付けるべき共通の能力を明示した「[神戸スタンダード](#)」に基づいた[教養教育の改革](#)として、自らの専門分野と異なる学問分野の基本的なものの考え方を学ぶ「[基礎教養科目](#)」、及び多文化理解や複数の学問分野にまたがるグローバル・イシューについて学ぶ「[総合教養科目](#)」を新たに開講

○ イノベーション創出に向けた研究の拡充 (戦略性が高く意欲的な目標・計画)

- ・ 自然科学系先端融合研究環、社会科学系教育研究府及び統合研究拠点の統合改組により、新たに「[先端融合研究環](#)」を設置し、「[文理融合による『こころの生涯健康学』研究の創成](#)」、「[革新的予防・診断・治療法開発に向けたシグナル伝達医学研究](#)」等、新たな学術領域を開拓することを目的としたプロジェクト10件を選定し重点支援を実施

○ 神戸グローバルチャレンジプログラムによる実践型グローバル人材育成

- ・ 課題発見・解決能力を有する実践型グローバル人材を育成する「[神戸グローバルチャレンジプログラム](#)」の開始
- ・ 7学部等でフィールドワークやインターンシップコースなどの14コースを実施 (参加学生75名)



教育研究に関して注目される取組

○ 法曹等を対象とした高度専門人材養成プログラム

- ・ 若手・中堅の実務家に「博士（法学）」の学位を授与する新しい博士課程後期課程プログラムである「[トップローヤーズ・プログラム](#)（TLP）」を開設し、弁護士や企業法務部勤務者等12名が入学

○ 社会システムイノベーション総合的研究拠点形成

- ・ 先端的な実証研究により問題を分析し社会問題を解決するため、「[社会システムイノベーションセンター](#)」を新設
- ・ 6部門・16の研究テーマを設定、39の研究プロジェクトを実施し、学内研究者172名、85の学外研究機関等（国内55、国外30）が参加

○ 研究成果の事業化を創業期からサポートする 会社の設立

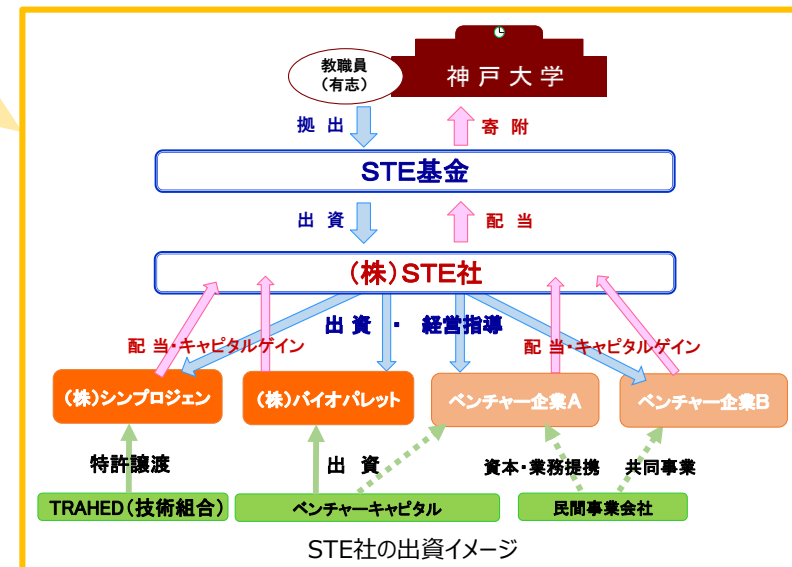
- ・ 「[株式会社科学技術アントレプレナーシップ](#)（STE社）」及び「一般社団法人神戸大学科学技術アントレプレナーシップ基金（STE基金）」を設立し、本学の研究シーズを事業化するバイオ・ベンチャー2社に出資

○ 認知症の早期発見・早期介入に向けた共同研究

- ・ 世界保健機関（WHO）神戸センターと、認知症の早期発見・早期介入を目指す統合的な「神戸モデル」の構築に向けた3年間の共同研究「[認知症の社会負担軽減に向けた神戸プロジェクト](#)」を開始

○ 臨床研究管理体制の整備

- ・ [医学部附属病院臨床研究推進センター](#)にプロジェクトマネージャーや企業での臨床開発経験者等の職員8名を新たに配置



業務運営等に関して注目される取組

○ 神戸大学ビジョンを支える新たな教員組織・人事システム

- ・ 教員組織を教育研究組織から分離し、すべての常勤教員を15学域及び3基盤域に配置
- ・ 教員の人事に関する事項の審議を学長の直下に置かれる教員人事委員会へ移管

○ 文理融合型独立大学院の設置

- ・ フラッグシップ研究（バイオプロダクション、先端膜工学、先端IT、先端医療学）とアントレプレナーシップとの融合による文理融合型の独立大学院「[科学技術イノベーション研究科](#)」を設置
- ・ 同研究科の設置に当たり全学的な組織見直しを実施し、人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命・医学系の研究科から学生定員40名、専任教員19名（学長裁量枠定員11ポスト含む）を確保するなど、資源を重点配分



科学技術イノベーション研究科看板上掲式の様子

○ 次世代医療における企業との連携等による外部資金比率（寄附金）の上昇

- ・ 「[医学部附属国際がん医療・研究センター](#)」の設置にあたり、シスメックス株式会社から寄附を受けるなど、寄附金収入（40億8,023万円）、寄附金に係る外部資金比率（約5.5%）とも前年度から上昇



医学部附属国際がん医療・研究センター開院式の様子

○ リサーチアドミニストレーターの積極的な支援等による外部資金比率（受託研究）の上昇

- ・ 大学のビジョンに掲げる先端研究・文理融合研究を重点的に推進し、ゲノム解析、感染症、先端計測分析技術、バイオ医薬品等、大型の競争的受託研究が増加したことにより、受託研究に係る外部資金比率（約4.4%）が前年度から上昇

業務運営等に関して注目される取組

○ メディアを対象とした研究内容の発信

- ・ 「[神戸大学研究者紹介システム](#)」を改修し、メディアを対象としたコメントテーマ・ジャンル検索を可能とした

○ 医療安全等に係る重要事項の確実な周知

- ・ 医学部附属病院において、医療安全・感染・薬剤・医療機器の重要事項をまとめた「くすのきスクエア」を新たに発行（月刊）し、確実に周知

○ 国立大学病院管理会計システム（HOMAS2）活用による効率的な病院運営

- ・ 診療科別・疾病別の収支データの蓄積及び分析を踏まえた診療科ヒアリングの実施による平均在院日数の短縮（平成28年度第4四半期：前年同期比0.5日短縮、通年：前年度比0.4日短縮）

コメントテーマ・ジャンル検索
一般向け ▶ キーワード検索 ▶ 組織検索

[HOME\(メディア向け\)](#) [▶ 神戸大学ホームページ](#)

コメントテーマ検索

キーワード

※氏名、論文タイトルなどの詳細は、[一般向けキーワード検索](#)をご利用ください。

検索

注目のキーワード 筋ジストロフィー、ゲノム、ジェンダー、素粒子、原子炉、震災、イノベーション、ベンチャー

ジャンル検索

国際情勢	各国事情	法律	政治	経済・金融
▶ 国際関係論	▶ 米国	▶ 憲法	▶ 外交・安全保障	▶ 日本経済
▶ 日米関係	▶ 中南米	▶ 刑法	▶ 日本政治	▶ 経済理論
▶ 軍縮・平和	▶ ロシア・東欧	▶ 民法	▶ 外国政治	▶ 財政・税制
	▶ 欧州・EU圏	▶ 行政法	▶ 地方自治	▶ 金融・証券
	▶ アフリカ	▶ 商法・会社法	▶ その他	▶ 為替・通貨・貿易
	▶ 中国	▶ 独占禁止法		▶ 人口問題
	▶ 東南アジア	▶ その他		▶ その他
	▶ 南アジア			
	▶ 朝鮮半島・東北アジア			
	▶ オセアニア			
	▶ 中東・アラブ			

経営・産業	情報・通信・メディア	科学・技術	医療・健康	環境・交通
▶ ベンチャー企業	▶ コンピューター技術	▶ 工学	▶ 医療工学	▶ 農業
▶ 企業経営	▶ 計算機科学・シミュレーション	▶ 数学	▶ 生命倫理	▶ 地球環境
▶ 製造業	▶ 人工知能・機械学習	▶ 化学	▶ 再生医療	▶ 公害・エネルギー
▶ 財務・会計	▶ データベース・データマイニング	▶ 物理学	▶ 創薬	▶ 気象・海洋
▶ マーケティング	▶ 画像・音声認識	▶ 生命科学	▶ がん治療	▶ 物流
▶ イノベーション	▶ ウェアラブルコンピューティング	▶ 生物	▶ 臨床医学	▶ 交通論
	▶ インターネット	▶ 天文・惑星	▶ リハビリテーション・看護	▶ 航空・海運
	▶ メディアと社会	▶ 建築	▶ メンタルヘルス	
	▶ 情報セキュリティ	▶ 原子力・原発	▶ 美容・健康	
		▶ バイオテクノロジー		

メディア向け神戸大学研究者紹介システムの検索ページ